



NISSAY  
ASSET MANAGEMENT

# ニッセイオーストラリア 高配当株ファンド(毎月決算型)

追加型投信／海外／資産複合

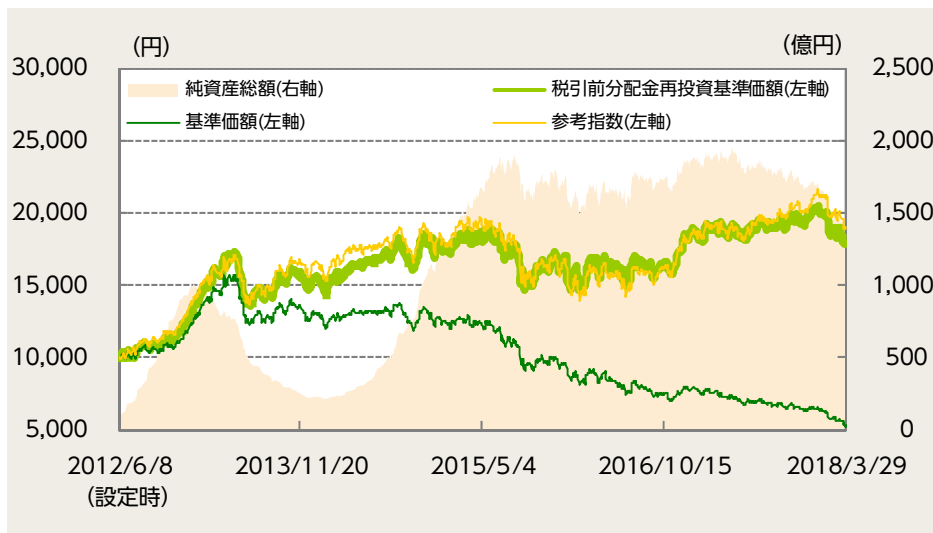
マンスリーレポート

2018年3月末現在



## 運用実績

### 基準価額・純資産の推移



### 基準価額および純資産総額

|       |         |
|-------|---------|
| 基準価額  | 5,265円  |
| 前月末比  | -333円   |
| 純資産総額 | 1,355億円 |

### 分配の推移 (1万口当り、税引前) (※)

|         |          |         |
|---------|----------|---------|
| 第64期    | 2017年9月  | 150円    |
| 第65期    | 2017年10月 | 150円    |
| 第66期    | 2017年11月 | 150円    |
| 第67期    | 2017年12月 | 150円    |
| 第68期    | 2018年1月  | 150円    |
| 第69期    | 2018年2月  | 150円    |
| 第70期    | 2018年3月  | 150円    |
| 直近1年間累計 |          | 1,800円  |
| 設定来累計額  |          | 11,570円 |

### 基準価額の騰落率 (税引前分配金再投資)

|      | 1ヵ月   | 3ヵ月    | 6ヵ月   | 1年    | 3年    | 設定来   |
|------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|
| ファンド | -5.8% | -12.3% | -6.9% | -8.1% | -1.5% | 78.2% |
| 参考指数 | -6.6% | -11.3% | -4.3% | -3.0% | -0.1% | 88.7% |

※当ファンドは毎月28日決算です。28日が休業日の場合、翌営業日に支払われます。そのため、同月に2回分配が行われる場合があります。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※基準価額は実質的な信託報酬控除後のものです。税引前分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。なお、信託報酬率は「手続・手数料等」の「ファンドの費用」をご覧ください。

※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。分配金は信託財産から支払いますので、基準価額が下がる要因となります。収益分配金には普通分配金に対して所得税および地方税がかかります(個人受益者の場合)。

※ファンド騰落率は分配金(税引前)を再投資したものと計算しており、実際の投資家利回りとは異なります。

※基準価額の前月末比は、決算日到来月に分配金支払実績がある場合、分配金込みで算出しています。

※当ファンドはベンチマークを定めていませんが、S & P / A S X 200指数(配当込み、円換算ベース)を参考指数として掲載しております。S & P / A S X 200指数は設定日前日の終値を起点として指数化しています。円換算は、対顧客電信売買相場仲値を使用しています。なお、S & P / A S X 200指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はスタンダード&プアーズ(以下「S & P」といいます。)に帰属します。S & PはS & Pが公表する各指数またはそれに含まれるデータの正確性あるいは完全性を保証するものではなく、またS & Pが公表する各指数またはそれに含まれるデータを利用した結果生じた事項に関して保証等の責任を負うものではありません。

### 組入比率

|                                       |       |
|---------------------------------------|-------|
| LM・オーストラリア<br>高配当株ファンド<br>(適格機関投資家専用) | 98.4% |
| ニッセイマネー<br>マザーファンド                    | 0.1%  |
| 短期金融資産等                               | 1.6%  |

※対純資産総額比

### 基準価額の変動要因

|            | 1ヵ月   | 設定来      |
|------------|-------|----------|
| 株式要因       | 価格要因  | -232円    |
|            | 配当要因  | 36円      |
| 為替要因       | -135円 | 468円     |
| その他(信託報酬等) | -2円   | -1,350円  |
| 小計         | -333円 | 6,835円   |
| 分配金        | -150円 | -11,570円 |
| 合計         | -483円 | -4,735円  |

※要因分析は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。

※各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、各項目の合算は必ずしも合計とは一致しません。

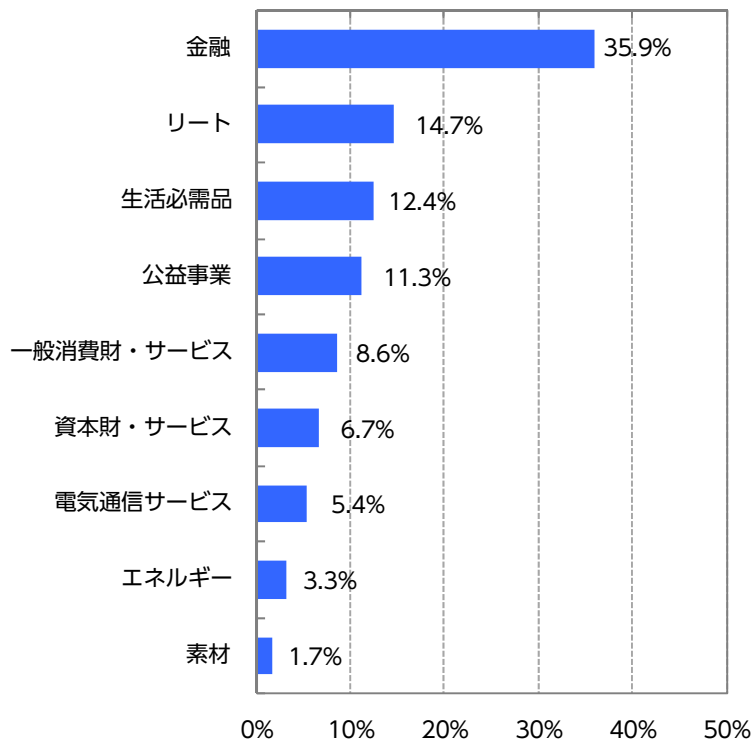
※株式要因、為替要因は、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社の資料に基づき、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

## 投資対象ファンドの状況

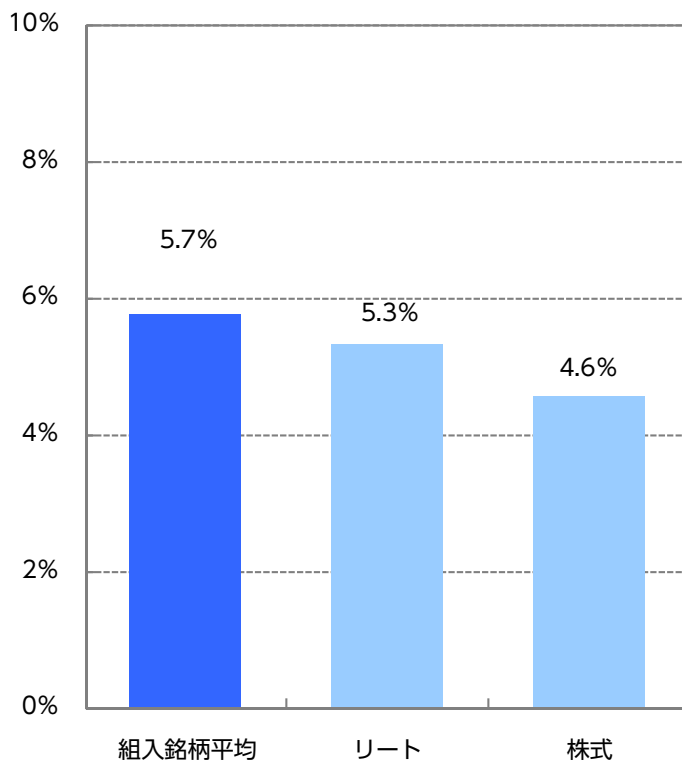
※投資対象ファンドの状況は、当ファンドが主に投資対象とする「LM・オーストラリア高配当株ファンド（適格機関投資家専用）」のマザーファンドの状況を表示しています。

※「業種別組入比率」、「<ご参考>オーストラリアの主な投資資産の利回り（組入銘柄平均）」および「組入上位10銘柄」は、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社の資料（現地月末前日基準）に基づきニッセイアセットマネジメントが作成しています。

### 業種別組入比率



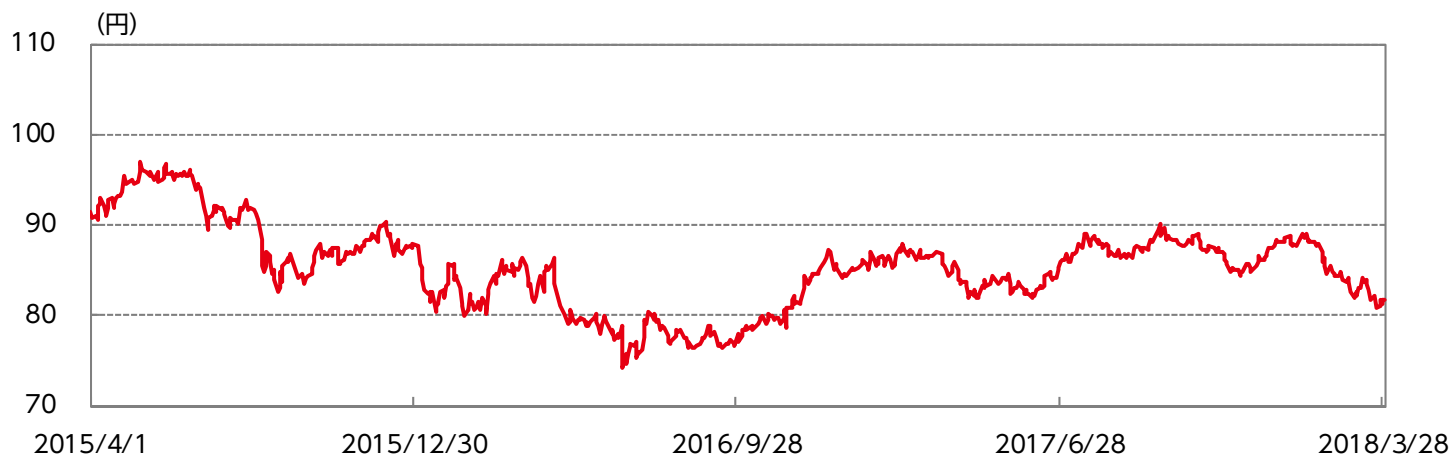
### <ご参考>オーストラリアの主な投資資産の利回り



※組入銘柄平均：主要投資対象ファンド組入銘柄の予想配当利回り（加重平均）です。

※リート：S & P / A S X 200 A - R E I T 指数（予想配当利回り）、株式：S & P / A S X 200 指数（予想配当利回り）については、ブルームバーグのデータをもとに、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

### <ご参考>為替（オーストラリアドル・円レート）の推移（直近3年間）



※対顧客電信売相場仲値のデータをもとに、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

# ニッセイオーストラリア高配当株ファンド(毎月決算型)

マンスリーレポート  
2018年3月末現在

組入上位10銘柄

(銘柄数：43、組入銘柄の予想配当利回り(加重平均)：5.7%)

|    | 銘柄                 | 業種       |      | 銘柄解説   |
|----|--------------------|----------|------|--|
|    |                    | 配当利回り    | 比率   |  |
| 1  | ウェスファーマーズ          | 生活必需品    |      | スーパー、百貨店、ホームセンター、化学品/肥料、石炭/エネルギーなど複数の事業を手がける多角経営企業。  |
|    |                    | 5.3%     | 6.5% |  |
| 2  | ウエストパック銀行          | 金融       |      | 四大市中銀行の一つ。1817年にニュー・サウス・ウエールズ銀行として創業。オーストラリアで最も古い歴史を持つ銀行。個人から法人、機関投資家まで、幅広い種類の顧客を対象に事業を展開。 |
|    |                    | 6.8%     | 5.9% |  |
| 3  | ANZ銀行グループ          | 金融       |      | 四大市中銀行の一つ。日本では東京、大阪に支店を持ち、法人、富裕層、および個人へ幅広いサービスを展開。オーストラリア、ニュージーランド、アジア太平洋地域など、各国で事業展開。     |
|    |                    | 6.0%     | 5.5% |  |
| 4  | テルストラ・コーポレーション     | 電気通信サービス |      | 大手通信会社。固定電話、国際電話、携帯電話などの各種サービスを行う。インターネットやブロードバンドなどにも注力。                                   |
|    |                    | 7.0%     | 5.4% |  |
| 5  | AMP                | 金融       |      | オーストラリアを代表する総合金融グループ。グループ会社を通じて、年金、生命保険、資産運用、各種金融サービスを提供。                                  |
|    |                    | 6.0%     | 4.7% |  |
| 6  | AGLエナジー            | 公益事業     |      | 天然ガス、電力、エネルギー燃料を供給する総合エネルギー会社。水力、風力、太陽光等の再生可能エネルギーも手掛ける。                                   |
|    |                    | 5.7%     | 4.5% |  |
| 7  | オーストラリア・コモンスウェルス銀行 | 金融       |      | 商業銀行。銀行業務、生命保険、その他関連サービスを提供する。   |
|    |                    | 6.1%     | 4.4% |  |
| 8  | センターグループ           | リート      |      | オーストラリア、ニュージーランド国内で、ウエストフィールド・ブランドのショッピングセンターを運営。  |
|    |                    | 5.8%     | 3.9% |  |
| 9  | ビシニティ・センターズ        | リート      |      | オーストラリアでショッピングセンターを所有・運営するREIT。フェデレーション・センターズとノビオン・プロパティ・グループとの合併を受けて誕生。                   |
|    |                    | 6.8%     | 3.6% |  |
| 10 | ナショナル・オーストラリア銀行    | 金融       |      | 国際的な銀行グループ。オーストラリア国内をはじめ、ニュージーランド、欧州、アジア、米国で事業を展開。主要ビジネスである住宅ローンをはじめ、企業向け貸付や投資関連業務などに従事。   |
|    |                    | 6.9%     | 3.5% |  |

※比率はすべて対組入株式等評価額比です。

※配当利回りは、本レポートの作成基準日における投資顧問会社(レグ・メイソン・アセット・マネジメント・オーストラリア・リミテッド)の調査による予想配当利回りです。したがって、今後変動する場合があります。

※「当月の市況動向」、「ファンドの状況」および「今後の見通し」については、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社の資料（現地月末前日基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが合理的と判断した上で作成しています。

## 当月の市況動向

当月のオーストラリア株式市場は下落しました。

上旬は、トランプ米大統領が鉄鋼などに関税を課す輸入制限の方針を発表し、投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、主要輸出品である鉄鉱石の価格が下落したことなどから、株式市場は軟調な展開となりました。しかしその後、オーストラリア準備銀行（RBA：中央銀行）が金融政策理事会で賃金上昇率の底打ち判断を示したことや、米中の貿易摩擦への警戒感がやや後退したことなどから、株価は反発しました。中旬は、米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げペースの加速観測が後退し、米債券利回りが低下した影響などから、オーストラリアの債券利回りも低下したことなどを好感し、株式市場は底堅く推移しました。下旬は、米中の貿易摩擦懸念の悪化を背景にリスク回避姿勢が強まったことなどから、株価は下落しました。また、公的な調査委員会である王立委員会がオーストラリア銀行業界の不正に対する本格的な調査に乗り出していることを背景に、銀行株が低迷したことなども、株価の重荷となりました。

当月のオーストラリアドル・円相場は、オーストラリアドル安円高となりました。上旬は、オーストラリア民間設備投資が市場予想を下回ったことや、トランプ米大統領が鉄鋼などに関税を課す輸入制限の方針を発表し、投資家のリスク回避的な動きが強まったことなどから、オーストラリアドル売り・円買いが優勢となりました。しかし、RBAの金融政策理事会で賃金上昇率の底打ち判断が示されると、オーストラリアドルは反発しました。中旬は、貿易摩擦への懸念がくすぶる中、投資家のリスク回避的な動きに伴う円買いが優勢となり、オーストラリアドルは対円で下落しました。下旬は、貿易摩擦に対する懸念等を背景に投資家のリスク回避的な動きが引き続き意識されたことなどから、オーストラリアドルは対円で上値の重い展開となりました。

## ファンドの状況

当ファンドは、オーストラリア株式市場の高配当株式に投資するファンドです。相対的に予想配当利回りが高い銘柄に選別投資し、ポートフォリオを構築します。

当ファンドの基準価額は、保有銘柄の株価が下落したことや、オーストラリアドル安円高が進行したことなどから、分配金（150円[税引前]）を含めて、前月末比-333円となりました。

当月末現在のファンド保有銘柄は、金融（12銘柄）、リート（8銘柄）、一般消費財・サービス（8銘柄）、公益事業（4銘柄）、資本財・サービス（4銘柄）、素材（2銘柄）、電気通信サービス（1銘柄）、生活必需品（3銘柄）、エネルギー（1銘柄）の計43銘柄となっています。

## 今後の見通し

今後の株式市場については、オーストラリア経済の回復基調や好調な企業収益が下支えになると予想します。また、インフレ圧力が依然抑制されていることなどを背景に、RBAが当面、現行の緩和的な政策を維持する姿勢を示していることも、株価の下支えになると見込まれます。

オーストラリアドルについては、当月は米中の貿易摩擦懸念などを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、オーストラリアドル安円高となりました。しかし、オーストラリア経済が今後も緩やかな成長基調をたどると予想される一方、日本では日銀が積極的な緩和姿勢を継続していることから、オーストラリアドルは対円で底堅く推移すると予想します。

## ファンドの特色

- ①オーストラリア株式等に実質的に投資することにより、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざします。
- ②原則として、毎月28日（休業日の場合は翌営業日）の決算時に収益分配を行います。
- ※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。
- ※将来の分配金の支払いおよび水準について、保証するものではありません。
- ③「ニッセイマネープールファンド(豪高配当株F)」との間でスイッチングが可能です。
- ※スイッチングとは、保有しているファンドの換金と同時に乗換えるファンドを購入する取引です。
- ※スイッチングの際には、換金時と同様に税金および販売会社が定める購入時手数料・税金がかかります。なお、販売会社によっては、「ニッセイオーストラリア高配当株ファンド(毎月決算型)」のみの取扱いとなる場合があります。

## 投資リスク

※ご購入に際しては、投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分にお読みください。

### 基準価額の変動要因

- ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果（損益）はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。

### 主な変動要因

|                   |                       |   |
|-------------------|-----------------------|---|
| 株式投資リスク           |                       | 株式は国内および国際的な景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受け、また業績悪化（倒産に至る場合も含む）等により、価格が下落することがあります。   |
| 不動産投資信託（リート）投資リスク | 保有不動産に関するリスク          | リートの価格は、リートが保有する不動産の価値および賃貸料収入の増減等、また不動産市況や景気動向等の影響を受け変動します。リートが保有する不動産の賃貸料や稼働率の低下、また自然災害等によって保有する不動産に損害等が生じた場合、リートの価格が下落することがあります。 |
|                   | 金利変動リスク               | リートは、金利が上昇する場合、債券等の利回りとの比較から売却され、価格が下落することがあります。また、金融機関等から借入れを行うリートは、金利上昇時には金利負担の増加により収益性が悪化し、リートの価格が下落することがあります。                   |
|                   | 信用リスク                 | リートは一般の法人と同様に倒産のリスクがあり、リートの経営や財務状況が悪化した場合、リートの価格が下落することがあります。   |
|                   | リートおよび不動産等の法制度に関するリスク | リートおよび不動産等に関する法制度（税制・建築規制等）の変更により不動産の価値および収益性が低下する場合、リートの価格が下落することおよび分配金が減少することがあります。   |
| 為替変動リスク           |                       | 原則として対円での為替ヘッジを行わないため、外貨建資産については、為替変動の影響を直接的に受けます。一般に円高局面ではファンドの資産価値が減少します。   |
| 流動性リスク            |                       | 市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。   |



## 分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

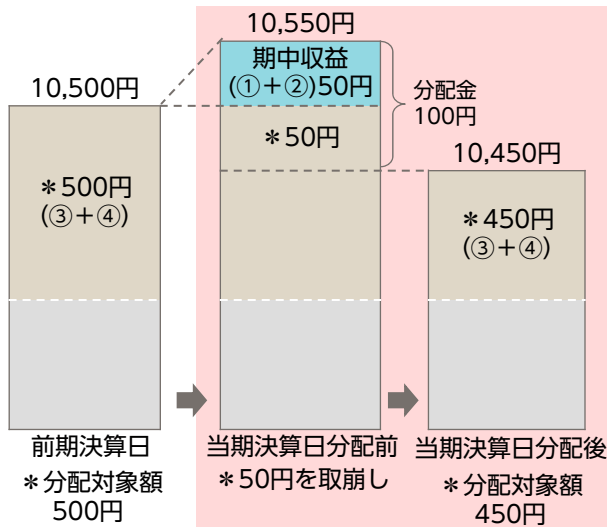
ファンドで分配金が支払われるイメージ



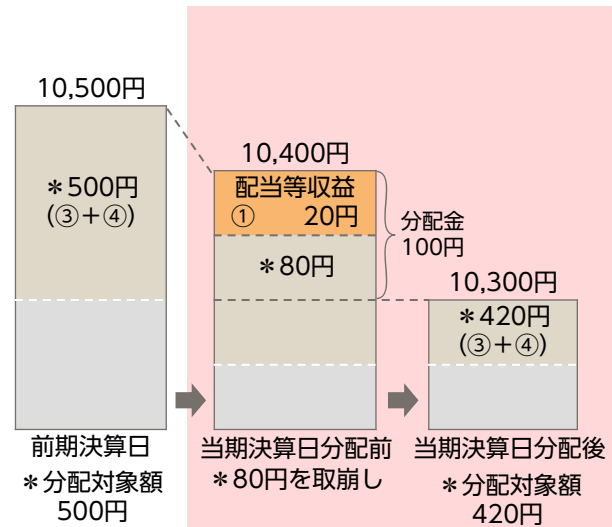
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



※分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、収益分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

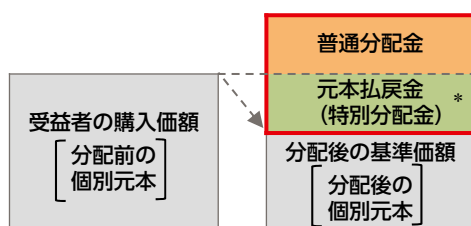
分配準備積立金：期中収益（①および②）のうち、当期の分配金として支払われず信託財産に留保された金額をいい、次期以降の分配金の支払いにあてることができます。

収益調整金：追加型株式投資信託において追加設定が行われることによって、既存の受益者の分配対象額が減らないようにするために設けられた勘定です。

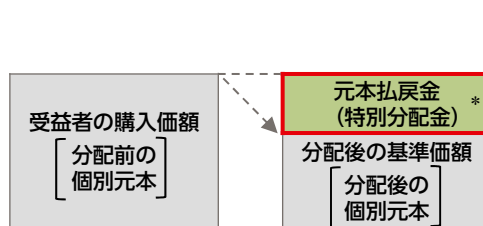
❗ 上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



\* 実質的に元本の一部払戻しに相当する元本払戻金（特別分配金）が支払われると、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金（特別分配金）部分は非課税扱いとなります。

普通分配金：個別元本（受益者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

※普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## 手続・手数料等

※基準価額は便宜上1万口当りに換算した価額で表示されます。

### お申込みメモ

|        |        |   |
|--------|--------|---|
| 購入時    | 購入単位   | 各販売会社が定める単位とします。  |
|        | 購入価額   | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。  |
| 換金時    | 換金価額   | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。  |
|        | 換金代金   | 換金申込受付日から起算して、原則として7営業日目からお支払いします。  |
| 申込について | 申込締切時間 | 原則として毎営業日の午後3時までに販売会社の手続きが完了したものを当日受付分とします。   |
|        | 申込不可日  | 申込日または申込日の翌営業日がオーストラリア証券取引所（半休日を含みます）、シドニーの銀行、メルボルンの銀行のいずれかの休業日と同日の場合は、購入・換金・スイッチングの申込みの受付けを行いません。  |
| 決算・分配  | 決算日    | 毎月28日（該当日が休業日の場合は翌営業日）  |
|        | 収益分配   | 年12回の毎決算日に、収益分配方針に基づき収益分配を行います。   |
| その他    | 信託期間   | 2021年8月27日まで（設定日：2012年6月8日）   |
|        | 繰上償還   | <ul style="list-style-type: none"> <li>投資対象とする「LM・オーストラリア高配当株ファンド（適格機関投資家専用）」が存続しないこととなる場合には、ファンドを繰上償還します。</li> <li>受益権の口数が10億口を下回っている場合等には、委託会社はあらかじめ受益者に書面により通知する等の手続きを経て、ファンドを繰上償還させることがあります。</li> </ul> |
|        | 課税関係   | 課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」の適用対象です。NISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問合せください。              |
|        | スイッチング | 「ニッセイオーストラリア高配当株ファンド(毎月決算型)」と「ニッセイマネープールファンド(豪高配当株F)」との間でスイッチングが可能です。スイッチングの際には、換金時と同様に税金および販売会社が定める購入時手数料・税金がかかります。<br>※販売会社によっては、「ニッセイオーストラリア高配当株ファンド(毎月決算型)」のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。          |

❗ ご購入に際しては、投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分にお読みください。



### 投資信託／オーストラリア・ニュージーランド株式 部門 優秀ファンド賞

「R&Iファンド大賞」は、R&I等が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR&I等が保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&I等に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

## ファンドの費用

| 投資者が直接的に負担する費用      |                  |  |                                   |                        |
|---------------------|------------------|--|-----------------------------------|------------------------|
| 購入時                 | 購入時手数料           | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>3.78% (税抜3.5%)</b> を上限として販売会社が独自に定める率をかけた額とします。<br>※ 料率は変更となる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。  |                                   |                        |
| 換金時                 | 信託財産留保額          | ありません。   |                                   |                        |
| 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 |                  |  |                                   |                        |
| 毎日                  | 運用管理費用<br>(信託報酬) | ファンドの純資産総額に年率1.188% (税抜1.1%) をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。  |                                   |                        |
|                     |                  | 投資対象とする指定<br>投資信託証券  | LM・オーストラリア高配当株ファンド<br>(適格機関投資家専用) | 年率0.6048%<br>(税抜0.56%) |
|                     |                  |  | ニッセイマネーマザーファンド                    | ありません。                 |
|                     | 実質的な負担           | ファンドの純資産総額に <b>年率1.7928% (税抜1.66%)</b> 程度をかけた額となります。   |                                   |                        |
|                     | 監査費用             | ファンドの純資産総額に年率0.0108% (税抜0.01%) をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。   |                                   |                        |
| 随時                  | その他の費用・<br>手数料   | 組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただけます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。また、ファンドの投資対象とするLM・オーストラリア高配当株ファンド(適格機関投資家専用)において、実質的に投資する投資信託証券には運用報酬等の費用がかかりますが、銘柄等が固定されていないため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。 |                                   |                        |

- ⓘ 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。
- ⓘ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 税金

分配時の普通分配金、換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して、所得税および地方税がかかります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

|   |   |
|---|---|
| 委託会社【ファンドの運用の指図を行います】   | ファンドに関するお問合せ先   |
| ニッセイアセットマネジメント株式会社<br>金融商品取引業者登録番号 関東財務局長(金商)第369号<br>加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 | ニッセイアセットマネジメント株式会社<br>コールセンター：0120-762-506<br>(午前9時～午後5時 土、日、祝祭日は除きます)<br>ホームページ： <a href="https://www.nam.co.jp/">https://www.nam.co.jp/</a> |
| 受託会社【ファンドの財産の保管および管理を行います】  |   |
| みずほ信託銀行株式会社   |   |



## ご留意いただきたい事項

- ①投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果（損益）はすべて投資者の皆様のもとなります。投資元本および利回りが保証された商品ではありません。
- ②当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。ご購入に際しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等（目論見書補完書面を含む）の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- ③投資信託は、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。
- ④投資信託のお取引に関しては、クーリング・オフ（金融商品取引法第37条の6の規定）の適用はありません。
- ⑤当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、資金動向、市況動向等によっては方針通りの運用ができない場合があります。
- ⑥当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- ⑦当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## 取扱販売会社一覧

※販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によっては、新規のお申込みを停止している場合があります。詳しくは、販売会社または委託会社の照会先までお問合せください。

| 取扱販売会社名        | 金融商品取引業者 | 登録金融機関 | 登録番号            | 日本証券業協会 | 一般社団法人<br>日本投資顧問業協会 | 一般社団法人<br>金融先物取引業協会 | 一般社団法人<br>第二種金融商品取引業協会 |
|----------------|----------|--------|-----------------|---------|---------------------|---------------------|------------------------|
| 藍澤証券株式会社(※)    | ○        |        | 関東財務局長(金商)第6号   | ○       | ○                   |                     |                        |
| あかつき証券株式会社(※)  | ○        |        | 関東財務局長(金商)第67号  | ○       | ○                   | ○                   |                        |
| エース証券株式会社      | ○        |        | 近畿財務局長(金商)第6号   | ○       |                     |                     |                        |
| 株式会社SBI証券(※)   | ○        |        | 関東財務局長(金商)第44号  | ○       |                     | ○                   | ○                      |
| 大山日ノ丸証券株式会社(※) | ○        |        | 中国財務局長(金商)第5号   | ○       |                     |                     |                        |
| 高木証券株式会社(※)    | ○        |        | 近畿財務局長(金商)第20号  | ○       |                     |                     |                        |
| 日本アジア証券株式会社    | ○        |        | 関東財務局長(金商)第134号 | ○       |                     |                     |                        |
| マネックス証券株式会社    | ○        |        | 関東財務局長(金商)第165号 | ○       | ○                   | ○                   |                        |
| みずほ証券株式会社      | ○        |        | 関東財務局長(金商)第94号  | ○       | ○                   | ○                   | ○                      |
| 三津井証券株式会社(※)   | ○        |        | 北陸財務局長(金商)第14号  | ○       |                     |                     |                        |
| 水戸証券株式会社       | ○        |        | 関東財務局長(金商)第181号 | ○       | ○                   |                     |                        |
| 楽天証券株式会社(※)    | ○        |        | 関東財務局長(金商)第195号 | ○       | ○                   | ○                   | ○                      |
| 株式会社香川銀行(※)    |          | ○      | 四国財務局長(登金)第7号   | ○       |                     |                     |                        |
| 株式会社大正銀行(※)    |          | ○      | 近畿財務局長(登金)第19号  | ○       |                     |                     |                        |

※「ニッセイマネープールファンド（豪高配当株F）」のお申込みは受け付けておりません。